

NPO 法人近畿水の塾

第9期（平成22年度）総会次第

日時：5月22日（土） 13時30分～14時20分

場所：尼崎市小田公民館2階学習室2・3

議案：

第1号議案 平成21年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 平成22年度事業計画及び収支予算について

第8期（平成21年度）事業報告（案） （平成21年4月1日～平成22年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第8期（平成21年度）の事業について、以下のとおり報告する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施した。

【実施場所】大阪府環境農林水産研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成21年4月1日～平成22年3月31日（月1回程度）

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・会員の西河嗣郎さんが船長となり、環濠クルーズ「堺のまちを観る」を開催した。（4/11）

・淀川愛好会主催の大戸川ダム現地見学会と連携した（4/29）

・「水になったふるさと」の上映会を開催した（5/30）

・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、木津川中流域の自然・文化・歴史を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 木津川」（7/25-7/26）を開催した。

・猪名川・藻川まつりの中で、Eボートによる水面利用イベントを企画実施した。

・宇根豊さんと映画「たんぼ」をみて農と自然を語る会を開催した（12/19）

・河川塾100回記念として、「女性技術者の視点で語る「環境・河川」」を開催した（3/27）

【実施場所】木津川、藻川等

【実施日時】平成21年4月1日～平成22年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト2009に後援した。

【実施場所】京都府南丹市日吉ダム天若湖畔

【実施日時】平成21年8月8日（土）、8月9日（日）

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・河川塾の開催情報を中心に情報発信を行った。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・BYスタンプラリーに継続して参画した。

・「全国水環境交流会」が開催した「第2回いい川・いい川づくりワークショップ」（「川の日ワークショップ」を引き継ぐもの）に参画した（9/21-22）

・「農・都共生ネットこうべ」と「田んぼ」の上映会を共同開催した（再掲）

・学生等のインターンシップにより、次世代につなげる連携を行った。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第8期（平成21年度）特定非営利活動に係る事業収支決算書

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成21年4月1日から平成22年3月31日

（単位：円）

科 目	決算額	予算額	差異	備 考（決算）
収入の部				
1 入会金・会費収入				正会員58人
正会員入会金収入	0	10,000	(10,000)	2千*0
正会員会費収入	150,000	180,000	(30,000)	3千*50
賛助会員会費収入	12,000	20,000	(8,000)	2千*6
2 寄付金収入	14,710	10,000	4,710	理事会後など
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	63,500	50,000	13,500	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	46,000	70,000	(24,000)	総会講演、拡大版
助言・支援事業	0	10,000	(10,000)	
交流創出事業	0	10,000	(10,000)	
5 その他収入				
受取利息	670	2,000	(1,330)	
当期収入合計（A）	286,880	362,000	(75,120)	
前期繰越収支差額	1,386,917	1,387,000	(83)	
収入合計（B）	1,673,797	1,749,000	(75,203)	
支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	12,000	30,000	(18,000)	河川塾講師謝礼
シンポジウム等企画・実施事業	227,813	100,000	127,813	総会講演会、拡大版、謝礼等
助言・支援事業	0	10,000	(10,000)	
交流創出事業	0	10,000	(10,000)	
その他事業	0	10,000	(10,000)	
2 管理費				
広告宣伝費	0	30,000	(30,000)	
給与手当（事務局職員）	120,000	120,000	0	アルバイト
水道光熱費（事務局）	0	0	0	
通信費	12,530	30,000	(17,470)	切手、振込料
旅費交通費	960	30,000	(29,040)	
消耗品費	407	10,000	(9,593)	タックシール
会議費	21,150	12,000	9,150	理事会会議場所
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	2,000	5,000	(3,000)	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	0	10,000	(10,000)	
当期支出合計（C）	396,860	407,000	(10,140)	
当期収支差額（A - C）	(109,980)	(45,000)	(64,980)	
次期繰越収支差額（B-C）	1,276,937	1,342,000	(65,063)	

第9期（平成22年度）事業計画（案）
（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、第9期（平成22年度）の事業について、以下のとおり計画する。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・「私の関わる水環境」などをテーマに、会員を含め会員外の各自の仕事や市民活動等の取り組み紹介を「河川塾」で実施する。

・近畿各地で、川歩きなどフィールドワークを積極的に実施する。

【実施場所】大阪府環境農林水産研究所環境情報プラザ等

【実施期間】平成22年4月1日～平成23年3月31日（月1回程度）

各種聞き取り調査や川の資料づくりの実施

【実施内容】・古老から（仮称）「おじいちゃんの仕事、おばあちゃんの暮らし」の聞き取り調査を実施する。宇陀市、木津市など。

・近畿水の塾オリジナルの「川の時刻表」づくりを検討するため、分科会を立ち上げる。（候補：南海電鉄空港線）

【実施場所】近畿圏内

【実施期間】平成22年4月1日～平成23年3月31日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、琵琶湖北西部流域の自然・文化・歴史を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する「近畿水環境交流会 in 高島」（7/31 - 8/1）を開催する。

・猪名川・藻川まつりの中で、Eボートによる水面利用イベントを企画実施する。

【実施場所】琵琶湖、藻川等

【実施日時】平成22年4月1日～平成23年3月31日

3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

【実施内容】・天若湖アートプロジェクト2010に後援する。

【実施場所】京都府南丹市日吉ダム天若湖畔

【実施日時】平成22年8月5日（木）～平成23年3月31日（木）

4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。

・ニュースレターを2回程度発行する。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・BY スタンプラリーに継続して参画する。近畿水環境交流会 in 高島や拡大版河川塾をエントリーする。

- ・「全国水環境交流会」に積極的に参画する。
- ・「第3回いい川・いい川づくりワークショップ」(「川の日ワークショップ」を引き継ぐもの)等全国的なネットワークにも積極的に参画する。
- ・きんき環境館と情報連携を行う。
- ・「農・都共生ネットこうべ」と情報交換を行う。
- ・学生等のインターンシップにより、次世代につなげる連携を行う。

【実施場所】全国

【実施日時】随時

第9期（平成22年度）特定非営利活動に係る事業収支予算書

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成22年4月1日から平成23年3月31日

（単位：千円）

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考（予算額）
収入の部				
1 入会金・会費収入				
正会員入会金収入	10	0	10	2千円×5人(新規+5として)
正会員会費収入	180	150	30	3千円×60人
賛助会員会費収入	20	12	8	2千円×10口
2 寄付金収入	10	15	(5)	
3 助成金収入	0	0	0	
4 事業収入				
調査・研究事業	50	63	(13)	0.5千円×10人×10回
シンポジウム等企画・実施事業	70	46	24	
助言・支援事業	10	0	10	講師謝金
交流創出事業	10	0	10	
5 その他収入				
受取利息	1	1	0	
当期収入合計（A）	361	287	74	
前期繰越収支差額	1,278	1,387	(109)	
収入合計（B）	1,639	1,674	(35)	
支出の部				
1 事業費				
調査・研究事業	18	12	6	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	200	227	(27)	講演、水交流会等
助言・支援事業	10	0	10	
交流創出事業	10	0	10	ニュースレター
その他事業	0	0	0	
2 管理費				
広告宣伝費	30	0	30	パンフレット
給与手当（事務局アルバイト）	60	120	(60)	アルバイト（5千円/月）
水道光熱費	0	0	0	
通信費	20	12	8	切手、振込料
旅費交通費	20	1	19	
消耗品費	10	1	9	
会議費	25	21	4	
減価償却費	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
諸会費	2	2	0	
寄付金	0	0	0	
3 予備費	6	0	6	
当期支出合計（C）	411	396	15	
当期収支差額(A-C)	(50)	(109)	59	
次期繰越収支差額(B-C)	1,228	1,278	(50)	